

問 公共下水道事業の検証

答 早期整備に向け事業推進



松井 甫

問

山崎町の下水道事業は区画整理区域を除き平成15年度末で終了しましたが、区画整理区域の8自治会は下水道未整備のまま残される可能性さえありました。関係住民から早期整備への強い要望が起き、当局はこれまでの方針を変更し、下水道事業を区画整理事業と切り離して施工することになり、現在事業は着々と進んでいます。これに関して4点について伺います。

第5工区から第7工区の完了時期は。

安全対策は十分か、人身事故など起きないか。

安全誘導の処置は万全か。区画整理区域での対応は。

市長

第5工区は平成21年1月30日完了予定、

第6・第7工区は平成21年3月31日の契約工期限内に完了する予定です。

・ 交通誘導員の配置、作業員の安全教育の実施等安全対策を講じ、人身事故等の未然防止にも努めています。

関係住民は下水道整備を望んでおられ、区画整理が進まない利益の公平性からも問題があることから、下水道整備を先行して進めていきます。



段地区の下水道工事

問 し尿券問題解決について関係監督者責任は？

答 近く処分を行う



秋田 裕三

問

平成20年3月・6月・9月議会でも他の各議員から同じ内容の指摘があるにもかかわらず「し尿券問題」の解決が長引いて憂慮すべき事態である。自浄作用はなぜ機能しないのか。関係監督者責任は？現在、発覚している1,600万円余りの損失の損害賠償は？

市長

関係者の監督責任は近くその処分を行う予定です。1,600万円余りについては今後、判明する作為者と確定額により求めるべきものと考えている。

問

対外的信用失墜が激しい、信用回復の施策は。

市長

様々な方策を検討しています。一つには情報公開、責任の明確化、信頼回復に向けた取組みをきちつとや

問

19年度決算の不備な部分についても受任者に倍賞要求を求めるべきと思うが市長の判断は？

市長

損害賠償は不正の犯罪を行った者に求めるのが原則であり、捜査を頂いている警察と協議しながら対応したいと考えています。



旧山崎浄苑